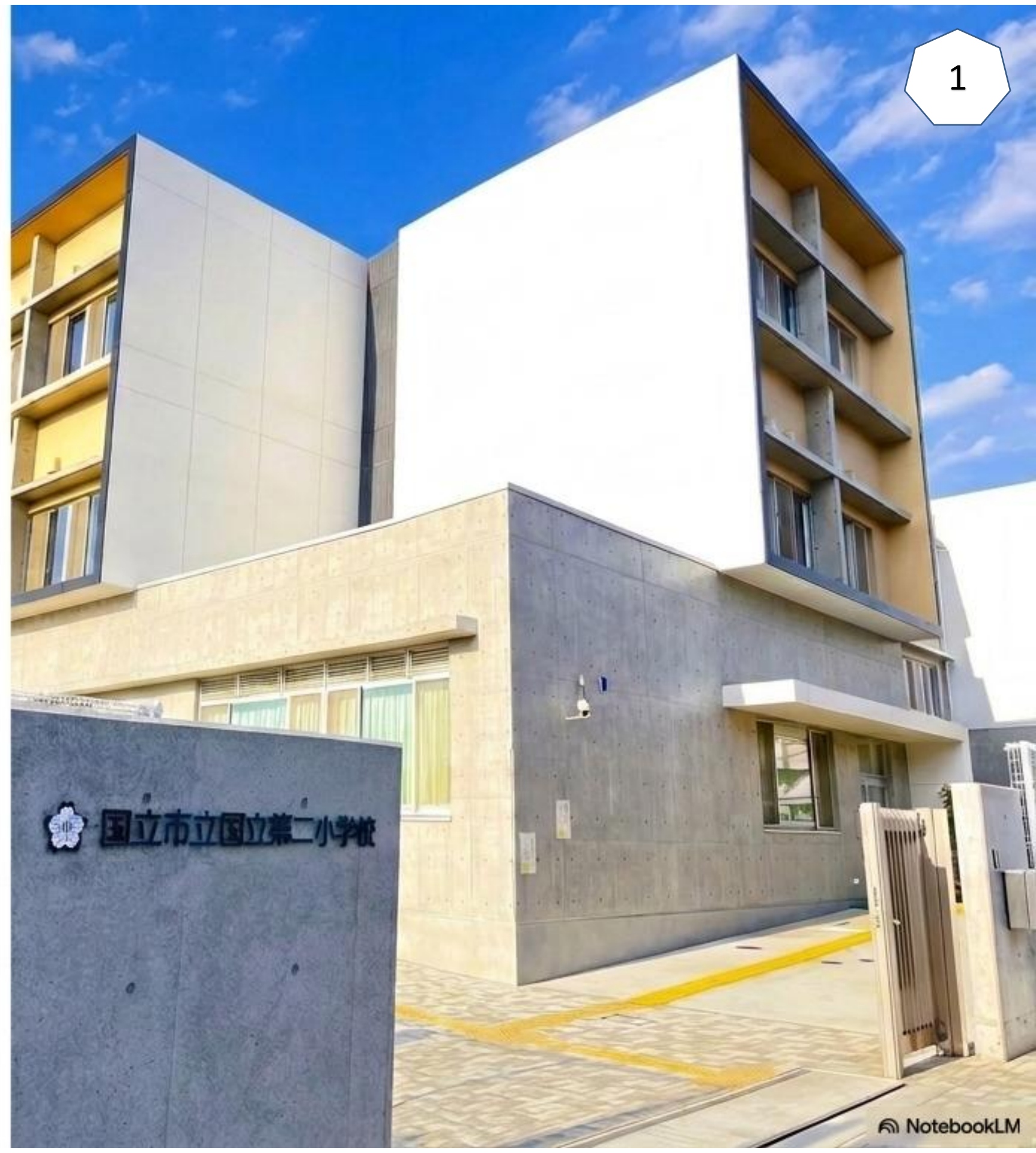


令和8年度 学校運営の 基本方針

国立第二小学校



学校経営理念

小学生はどの子も、 今、成長している

心も体も日々成長する子どもたち。
私たちはその成長を支え、よりよく生きてい
く基礎を保護者・地域と共に育みます。



よき教職員が よき教育環境を創造する

目的と方法を共通理解し、すべての教職員が
持てる力を十二分に発揮できる環境づくり
が、子どもたちの豊かな学びへ繋がります。



過去の習慣



令和8年度の視点

一人の先生の優れた指導に依存する

目的・方法を全職員で共有し、全校児童に影響させる（共通実践すれば成功する）

大きな問題が起きてから対応する

日々の「いつもと違う」小さな違和感を見逃さない（氷山の一角として捉える）



効率化のために習慣としてこなす

「なんのためにするのか」を常に問い、今の子供に合わせる



前例を踏襲し、失敗を避ける

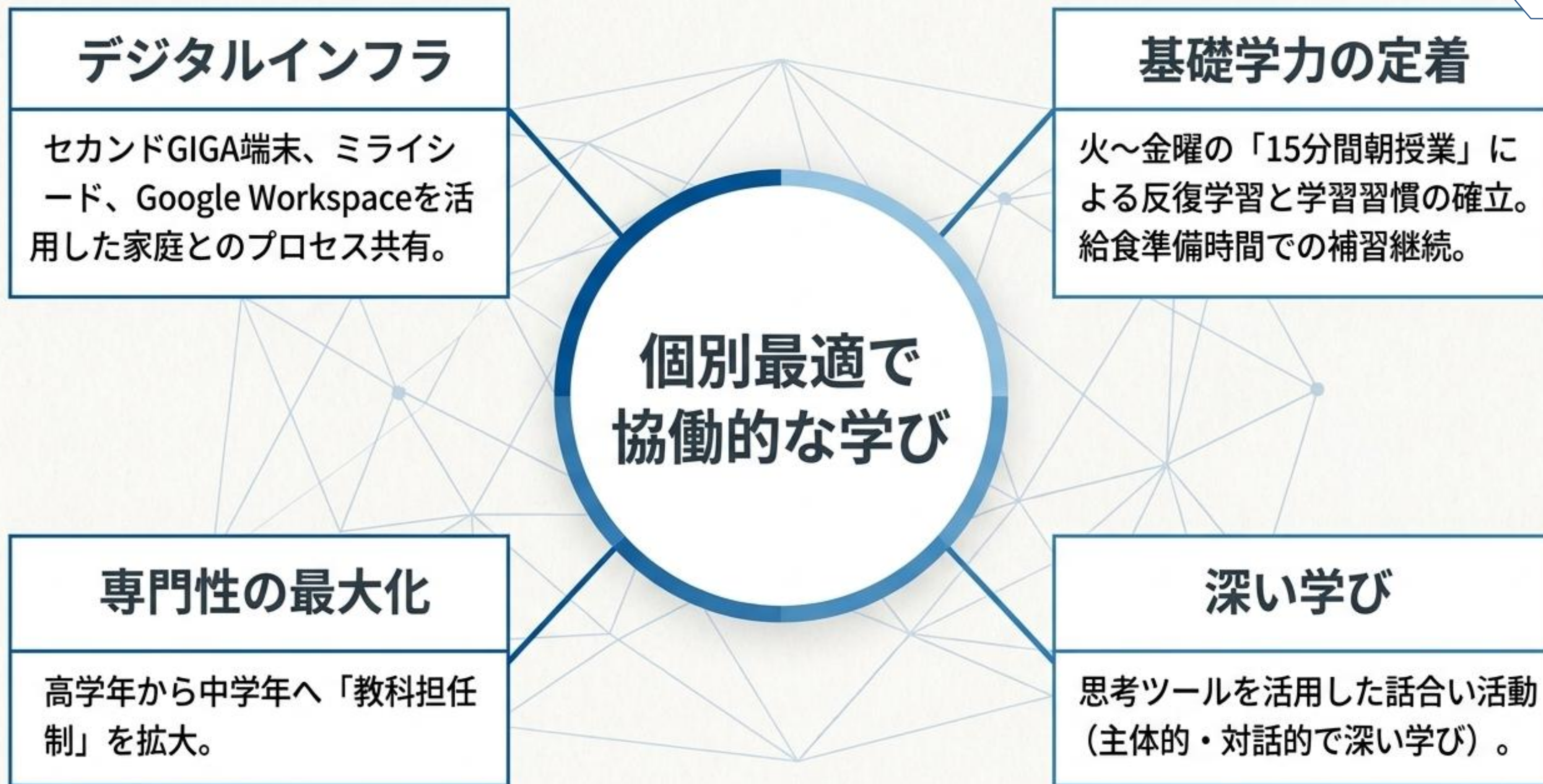
不易と流行を見極め、変える挑戦・変えない挑戦を選択する



学校の教育目標

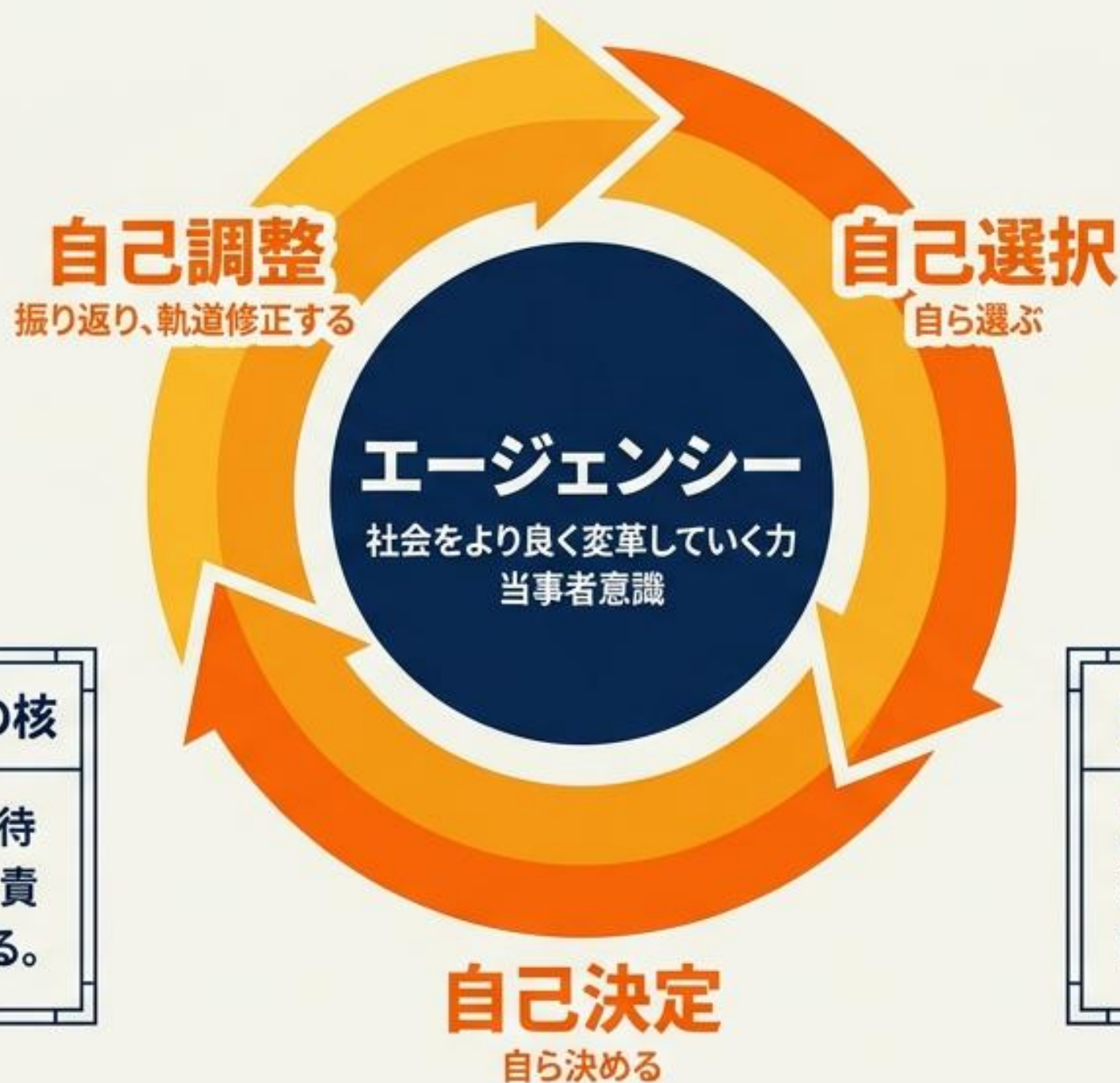
児童一人一人のよさや可能性を生かし、
他者と協働しながら豊かな人生を切り拓く
資質・能力を育てます。





未来を創る原動力「エージェンシー」を獲得する

6



OECD提唱・新学習指導要領の核

予測困難な時代において、指示を待つのではなく、自ら目標を設定し、責任を持って行動し、未来を創造する。

国立市研究奨励校としての使命

児童が自己選択・自己決定・自己調整できる学習の推進を校内研究の柱に位置付け、資質・能力を育む。

【あたたかく】 児童の意見表明の具現化

Step 1: プロセス



校庭の木プロジェクト

児童への全校アンケートと話し合いを実施。

Step 2: 具現化



土管の築山プロジェクト

QRコードで児童からアイデアを募集し、
実際の環境整備へ反映。

人権教育や特別活動を通じ、児童が自ら考えるルールや環境作り（意見表明権の具現化）を推進します。

【つよく】 体育授業の充実と豊かな教育活動

体育・運動習慣の確立

新しい校庭や新体育館を有効活用。教科担任制の利点を生かした安全で質の高い体育科の指導。

創造的な活動の充実

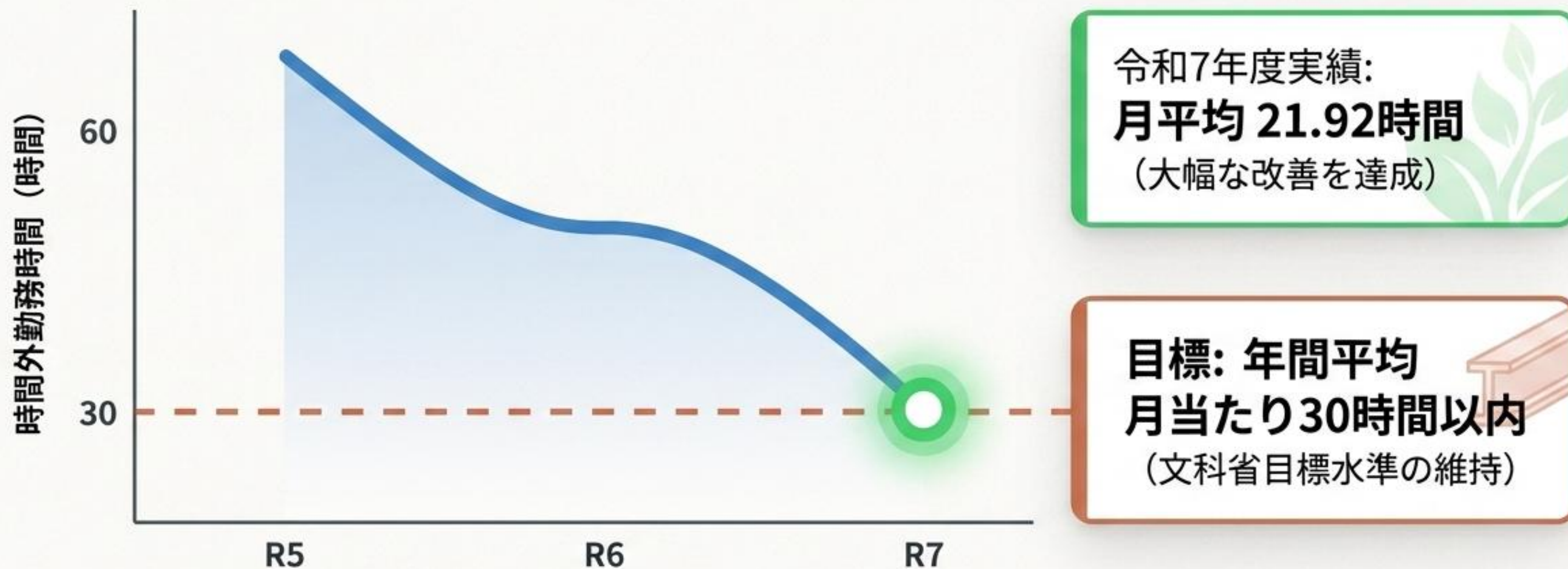
「二松ソーランプロジェクト」やラブ活動を通じた、粘り強く取り組む自己表現の場。

CSとの連携

学校運営協議会（CS）の地域人材を活用し、道徳授業や二松クラブなど、地域と連携した豊かな教育活動を創造。

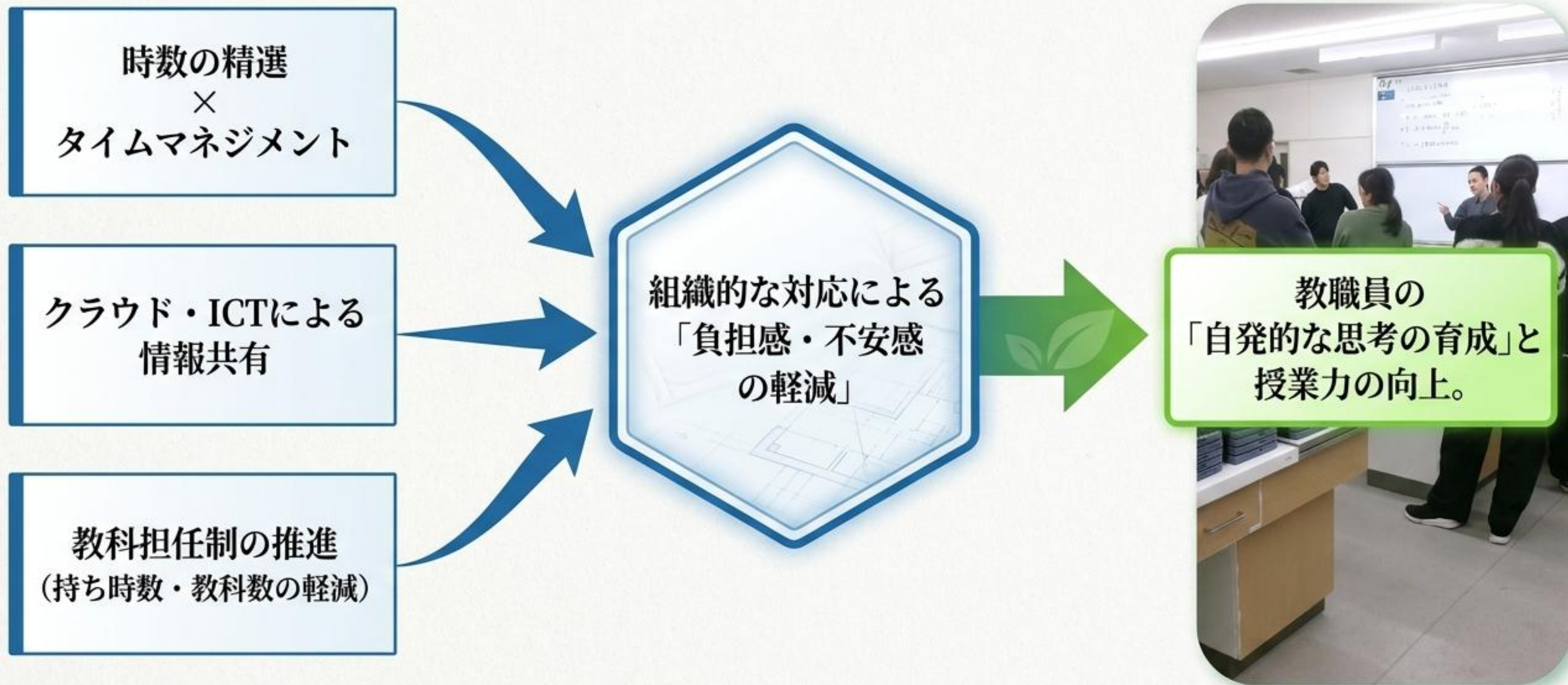


教職員の働き方改革：自発的な思考を生む余白の創出



この余白が、教職員の「自発的な思考」を生み、
質の高い教育環境へ直結する。

質の高い教育環境を支える構造



今後の展望： 「つなぐ教育」の継続

教育における「不易（変えないこと）」と「流行（変えること）」を見極め、学校・家庭・地域が一体となった教育を目指します。

- 新校舎と共に歩む

令和9年1月 新校舎・体育館・コミュニティ棟の完全落成。
旧施設のメモリアルコーナーの整備。

- 地域連携の継続

CSとの連携、「いってらっしゃいの週」「おかえりなさいの日」など、地域と密着した特色ある活動をこれからも引き継ぎます。

未来へ向けた新しい挑戦を、保護者・地域の皆様と共に。